

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
子宮頸癌パクリタキセル・シスプラチン+ベバシズマブ療法		21日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
day1	レストミン(10)5T Rp.1点滴開始と同時に内服 ① 生食50mL+アロキシ0.75mg+デキサート13.2mg+ガスター20mg ② 生食100mL ③ 5%glu250mL+PTX(67.5mg/m ²) インラインフィルターを使用する ④ 5%glu250mL+PTX(67.5mg/m ²)		
day2	イメンドカプセル125mg シスプラチン投与の60~90分前 ① 生食1000mL+MgSO ₄ 8mEq 前日のパクリタキセル持続点滴終了の4時間前から投与開始 ② 生食50mL(フラッシュ) ③ 生食100mL+ベバシズマブ15mg/kg 初回投与で問題がなければ2回目以降60分に短縮可。 さらに問題がなければ、その次回以降30分に短縮可。 ④ 生食50mL(フラッシュ) ⑤ 生食50mL+デキサート9.9mg ⑥ 生食350mL+CDDP(50mg/m ²) ⑦ フロセミド20mg CDDP終了後、側管から ⑧ ソルデム3A 500mL ⑨ ソルデム3A 500mL ⑩ ソルデム3A 500mL ⑪ ソルデム3A 500mL		
day3	① 生食50mL+デキサート6.6mg ② ソルデム3A 500mL ③ ソルデム3A 500mL ④ ソルデム3A 500mL ⑤ ソルデム3A 500mL		
コメント	day1Rp.1開始と同時にレストミン内服。 day2シスプラチン投与の60~90分前にイメンドカプセル125mg内服、day3-4イメンドカプセル80mg朝食後内服。 ベバシズマブのinfusion reactionが生じなければ2サイクル目は60分、さらに3回目以降は30分まで投与時間を短縮可。		

プロトコールに関する解説
プロトコールに関する解説はありません。